【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2003-524848(P2003-524848A)
【公表日】平成15年8月19日(2003.8.19)
【出願番号】特願2000-531845(P2000-531845)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　20/12　　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　20/12
Ｇ１１Ｂ　20/10　　３０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　機器内に組み込まれ、他の機器と接続して転送先機器に向けてデータストリームの送受信を行うフィルタリング装置において、
ａ．データストリームを第１のフォーマットから上記転送先機器に対応する第２のフォーマットに変換する命令を外部コントローラから受け取るように構成された制御回路と、
ｂ．上記制御回路に接続され、上記第１のフォーマットにより供給されたデータストリームを上記制御回路内の命令に基づいて上記第２のフォーマットに変換する処理を行う処理回路とを備えるフィルタリング装置。
【請求項２】　媒体記憶装置に組み込まれていることを特徴とする請求項１記載のフィルタリング装置。
【請求項３】　上記媒体記憶装置は、ＩＥＥＥ１３９４－１９９５シリアルバスネットワークに接続されることを特徴とする請求項２記載のフィルタリング装置。
【請求項４】　上記処理回路は、アイソクロノスデータストリームを処理することを特徴とする請求項３記載のフィルタリング装置。
【請求項５】　上記処理回路は、アイソクロノスデータストリーム及び非同期データストリームの両方を処理することを特徴とする請求項３記載のフィルタリング装置。
【請求項６】　上記命令は、上記制御回路内のファームウェア内にプログラミングされていることを特徴とする請求項５記載のフィルタリング装置。
【請求項７】　上記命令は、上記制御回路内の読出専用メモリに格納されていることを特徴とする請求項５記載のフィルタリング装置。
【請求項８】　ａ．データストリームを受信し、受信データストリームを生成し、及び処理済みデータストリームを転送先機器に対応するフォーマットで送信するインターフェイス回路と、
ｂ．上記受信データストリームを処理して所定のフォーマットに変換して上記処理済みデータストリームを生成する上記インターフェイス回路に接続されたフィルタリング回路と、
ｃ．上記フィルタリング回路に接続され、外部コントローラから供給される上記受信データストリームを上記処理済みデータストリームに変換するプログラミングされた命令を実行するプログラミング可能な制御回路とを備える媒体記憶装置。

【請求項９】　上記フィルタリング回路に接続され、上記受信データストリーム及び上記処理済みデータストリームのうちの所定のいずれか一方が格納される媒体をさらに備える請求項８記載の媒体記憶装置。
【請求項１０】　上記フィルタリング回路及び上記媒体に接続され、該媒体からの読出処理及び該媒体への書込処理を制御する読出／書込チャンネル回路をさらに備える請求項９記載の媒体記憶装置。
【請求項１１】　上記フィルタリング回路は、
ａ．上記受信データストリームを上記処理済みデータストリームに変換する処理のためのプログラミングされた命令が格納された制御格納メモリと、
ｂ．上記制御格納メモリに接続され、上記プログラミングされた命令が供給され、該プログラミングされた命令に基づいて、上記受信データストリームを上記処理済みデータストリームに変換して、上記処理済みデータストリームを生成する処理回路とを備える１つのアイソクロノスデータパイプであることを特徴とする請求項８記載の媒体記憶装置。
【請求項１２】　上記プログラミングされた命令は、外部コントローラにより上記制御格納メモリに格納されることを特徴とする請求項１１記載の媒体記憶装置。
【請求項１３】　上記インターフェイス回路は、ＩＥＥＥ１３９４－１９９５シリアルバスネットワークに接続されることを特徴とする請求項８記載の媒体記憶装置。
【請求項１４】　上記フィルタリング回路は、アイソクロノスデータストリーム及び非同期データストリームの両方を処理することを特徴とする請求項１４記載の媒体記憶装置。
【請求項１５】　媒体記憶装置にデータを書き込むデータ書込方法において、
ａ．上記媒体記憶装置に書き込むための受信データパケットを受信するステップと、
ｂ．上記受信データパケットを外部コントローラによってプログラミングされた命令に基づいて処理することにより、該受信データパケットとはフォーマットの異なる処理済みデータパケットを生成するステップと、
ｃ．上記処理済みデータパケットを上記媒体記憶装置内の媒体に格納するステップとを有するデータ書込方法。
【請求項１６】　上記受信データパケットは、ＩＥＥＥ１３９４－１９９５シリアルバスネットワークから受信されることを特徴とする請求項１５記載のデータ書込方法。
【請求項１７】　上記受信データパケットを処理するステップは、アイソクロノスデータパイプにより実行されることを特徴とする請求項１６記載のデータ書込方法。
【請求項１８】　媒体記憶装置からデータを読み出すデータ読出方法において、
ａ．上記媒体記憶装置内の媒体に事前に格納されているデータパケットを読み出すステップと、
ｂ．上記事前に格納されているデータパケットを外部コントローラによってプログラミングされた命令に基づいて処理することにより、該事前に格納されているデータパケットとはフォーマットの異なる処理済みデータパケットを生成するステップとを有するデータ読出方法。
【請求項１９】　上記処理済みデータパケットを他の機器に送信するステップを有することを特徴とする請求項１８記載のデータ読出方法。
【請求項２０】　上記送信するステップは、上記処理済みデータパケットをＩＥＥＥ１３９４－１９９５シリアルバスネットワークに送信するステップを有することを特徴とする請求項１９記載のデータ読出方法。